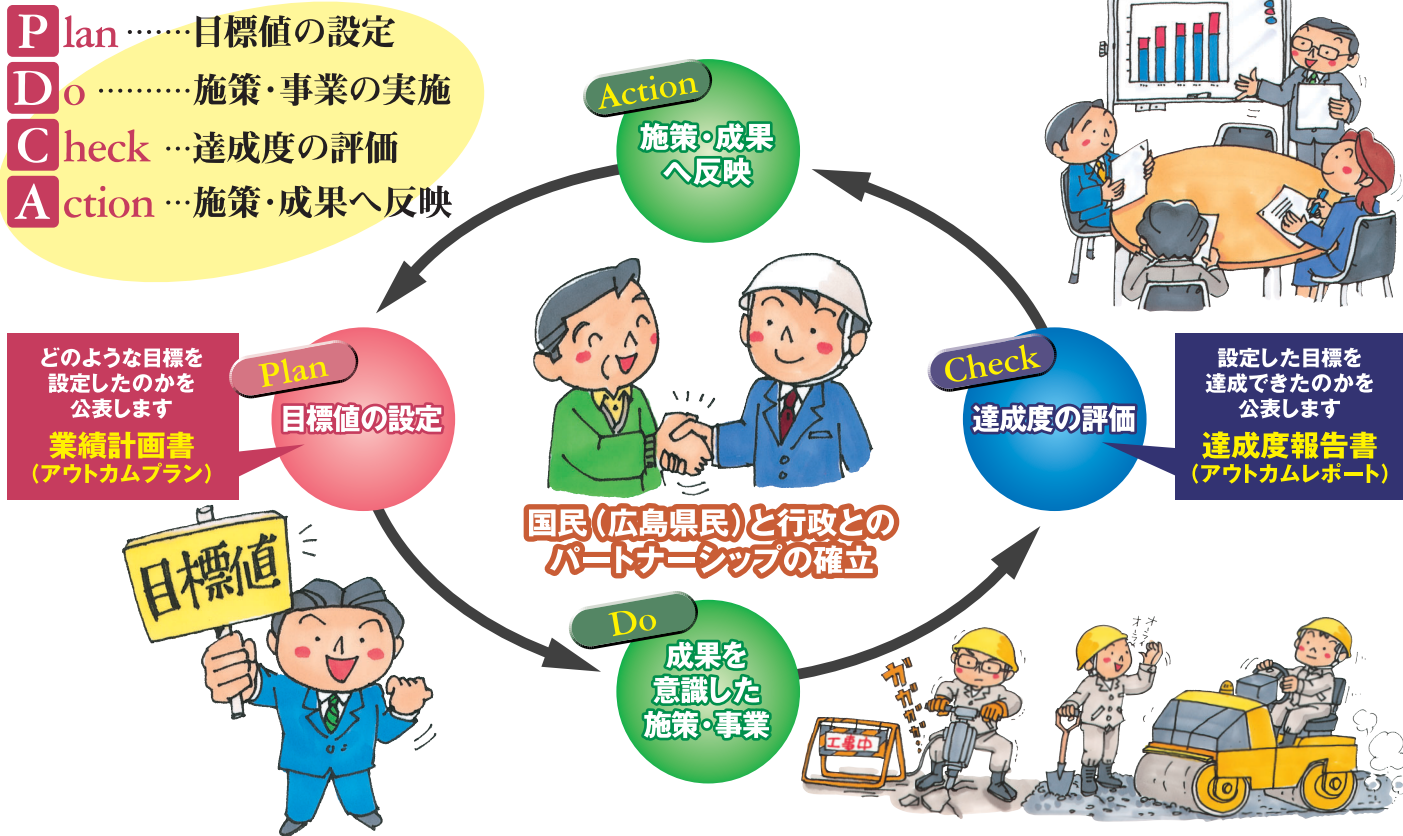


道路行政の効率化と透明性の向上を目指し、数値目標の設定、達成度の評価を行っています

● 数値目標を設定したうえで、道路行政マネジメントに取り組んでいます
(道路行政マネジメントのPDCA)



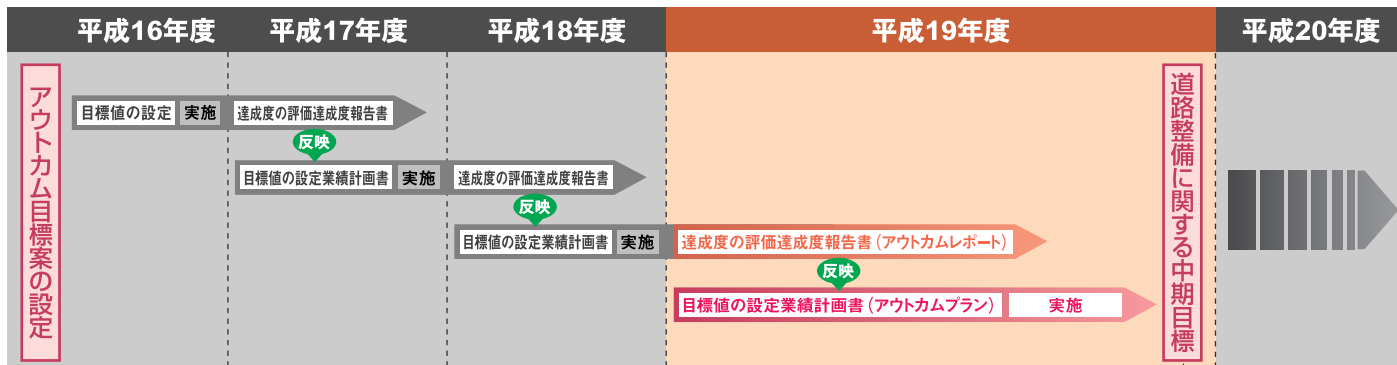
行政の透明性の向上

行政の効率性の向上

道路行政においては、平成15年度から「成果志向」にもとづき、事業の成果を示すことができる「アウトカム指標」を用いて、毎年度、事前に「アウトカム指標」の数値目標を設定し、その年の施策・事業に反映させる道路行政の仕組み＝“道路行政マネジメント”を導入しています。そのため、平成16年度、国土交通省・広島県・広島市・西日本高速道路株式会社(旧日本道路公団)・本州四国連絡高速道路株式会社(旧本州四国連絡橋公団)により構成される広島県幹線道路協議会では、広島県内の道路がかかえる課題を検討し、12のアウトカム指標に基づいた『ひろしまの道づくり』(平成16年度道路行政の業績計画書)を公表しました。

平成19年度においては、昨年度の達成度(アウトカムレポート)を評価するとともに、今年度の業績計画書(アウトカムプラン)を発表します。(本冊子は、特に目標値の設定[Plan]および達成度の評価[Check]について整理したものです)

● 平成19年度の取り組み



注) 中期目標 中国地方幹線道路協議会では、今後の道づくりの方針を道路整備プログラムで示しました。本書においても、これとの整合性を図るため平成19年度を中期目標としました。